



平成13年
3月23日
第101号

発行所

広島県歯科医師連盟
広島市中区富士見町11-9
TEL (082) 241-5525
編集兼発行人 山本忠昭

だいいじにすれば永久歯、
だいいじにしないと永久止。

Keep25 teeth
until you're 55



55歳まで25本の自分の歯をもちましょ

中原そう みぞてて頭正 励ます会開催

二月二十四日(土)午後二時から福山グランドホテル「ローズパレス」、午後四時三十分から「ロイヤルホテル広島四階「ロイヤルホール」に於て、標記の励ます会が開催された。当日は多くの来賓と会員を中心としたデンタルファミリーが両会場で七百名を超える参加者で会場をうずめ終始熱気に満ちた大会となった。



歯科界の代表 中原そう 参議院議員

〔広島会場〕

三戸斌士理事長の司会のもと、谷本健二副会長の開会の辞で始められた。本山栄荘会長より「我々を取り巻く様々な問題、平成十四年度医療法の抜本改正、診療報酬の改定、需給問題、パラジウムの問題、すべて政治の力なくして解決できるものはひとつもない。充実した地域医療をするためにどうしても政治の力が必要となる。したがって、いつも選挙のたびに先生方にはお願いを申し上げますが、よろしくご支援を賜りますようお願い申し上げます。中原そう先生、みぞてて頭正先生、これからまだ五ヶ月ござ

いますのでご自愛をいただきます。七月の参議院選挙にはぜひとも頑張ってください。わたし達も一生懸命に応援をします」と挨拶があった。続いて来賓挨拶があり、吉田幸弘参議院議員より「この年末から来年にかけて、最も注目をしなければならぬ、また最も重要であるのが、診療報酬の問題である。結果的には当初の目的を達成することはできなかったが、実に二・五パーセントの上昇率という、医師会からみれば歯科医師会に負けたというような声が届く結果を勝ち取った。おそらく今回も同じように中原先生は、身体を張って私たちの業界のために

仕事をしていただけではない。先生であると考えている。私としては、歯科の先生方、関連の先生方に限らず一般の皆様方にも中原先生のご功績、そして歯科医療、また社会福祉全般にわたる政策を訴え、この選挙を戦い抜いていこうと考えている。本当にこの選挙は歯科界にとっていかに大事かご理解をいただき、ぜひとも一票でも多くの票を上積みをしていただきたい」と挨拶があった。

あると思う。中原そう先生には、われわれ業界の代表として大変ご努力をいただいております。全国津々浦々の業界の皆様方がご承知のことであるので、どうしても出て頂かなくてはならない。やはり行政の中において、歯医者が議席を持ったという事はやはりそれなりに、言葉には表せないが歯科行政に対するひとつの思いが行政の中に伝わっているのではないかと考える。また、みぞてて頭正先生には広島県を代表する自民党の参議院議員として、ほんとうに獅子奮迅の働きをして頂いて

いる。一昨年、例の世羅高等学校の校長がお亡くなりになった。その八月九日には国旗国歌の法制化がなされた。その時のみぞてて頭正先生のお役割があった。みぞてて頭正先生は、あの国旗国歌の法制化はならなかったというふうには、我々は認識している。ですから、あとなぜか期間であるが、今一步の懸念なるご努力を傾注していただき、もう一度自民党に、そして中原そう先生に、そしてみぞてて頭正先生にご支援を賜わらんことを、心からお願いを申し上げます。祝電披露の後、広島県選挙区候補者のみぞてて頭正参議院議員より「大変な逆風の中で自由民主党は苦戦をいたしております。しかし、今出ている現象は確かに自由民主党の非常に悪い部分が出ておりますが、全部がそうではございませんので、ぜひこれはご理解を頂きたい。戦後五十五年の間、荒廃した広島市を、広島県を皆さんとともに今日に導いて参ったのは、自由民主党だと自負をいたしております。われわれ参議院の任期は六年でございます。したがって衆



中原そう議員・みぞてて頭正議員を励ます会

選挙区候補 みぞてて頭正参議院議員

議院と違って、六年間にすっかりと自分たちに与えられたテーマ、与えられた付託に対して応える必要があり。わたたくは、地方行政の出身です。地方政治をどうやっていくか、地方の暮らしをどうやっていくか、地方の教育をどうやっていくかという観点から、日本の問題を見ていくことが課題だと思っています。そしてそのためのアウトプットをやってきたつもりです。二十一世紀を迎えまして大変苦しい中で、しかも国政の第一歩がこの参議院選挙です。あらゆる自由民主党議員の一番先頭にあたってわれわれは突っ走っています。どうぞ、われわれの立場もご理解いただきまして、絶大なるご支援を賜わり

ますよう心からお願ひ申し上げます」と決意表明があった。

続いて比例区候補者の中原そう参議院議員より「昨年十月に選挙制度が変わりました。今度は「中原そう」という名前を書くことになりました。名前が数字が出てしまうので、本当に歯科医師会の実力がためされることになり。私の名前を書いていただくためにこの六年間何をやってきたのか、今後何をやるのかということをお答えしようと思ひます。まず平成十二年の歯科診療報酬について歯科医師会は一・四パーセントの大幅な引き上げを要求しましたが、医師会は満足感を表明しながらも最終的には二パーセントで妥協しました。しかし私と大島議員



参院選勝利に向けてガンバロウ

は最後まで協議を継続し、結局二・五パーセントの引き上げで決着しました。国の財源がなくなり医療財源を薬価差益から持つてくるようになって、昭和五十六年以降我々歯科の改定率は医科に、はるかに及ばないということが、もう二十年近く続いたわけです。それが今回初めて逆転しました。また、平成十一年七月三十一日当時の政調会長の池

田行彦先生と私は、医療材料価格算定方法の見直しにかり、歯科医療材料の価格基準の設定方法を歯科医療の特性を配慮したものにするという合意文書を作りました。これが今皆様の悩ましているパラジウム問題の解決策の一つになると考えます。また、自民党社会部会の中に小委員会を作って①少子高齢化社会における歯科医師需給問題②8020運動の推進③在宅歯科治療の展開④少子高齢化社会にふさわしい歯科診療報酬の体系を検討するよう要請しました。

こういった歯科の問題を解決するためには、歯科の代表がどうしても必要なので、みぞと顕正先生とともに、名前を書いていただくように心からお願ひ致します」と決意表明があった。



支援を訴える本山会長

のもと、谷本健二副会長より励ます会の開会の宣言があった。

本山栄荘会長は挨拶の中で「歯科界を取り巻く難問題の解決には、政治の力なくしては一つも解決出来ないものばかりである。また我々歯科医師が充実した地域医療をすすめるためには、どうしても政治の力を必要とする訳である。そのためにも、皆様方のご支援のもと、歯科医師会が一致団結し一層のお力添えを賜り、中原そう先生、みぞと顕正先生の再選に向け頑張っていきたい」と力強く述べた。

来賓としてご臨席された宮澤洋一参議院議員、平田修巳県議会議員より「現在、自民党に対する風当たりが強く、今夏施行される参議院選挙は非常に厳しい現状にある。しかしこの風が逆に自民党に追い風となるよう政治不信を払拭し、我々自民党員が一丸となって二十一世紀初めての参議院選挙に向けて頑張っていく。皆様方のご支援を今一度お願ひします」と挨拶があった。

次にみぞと顕正参議院議員は「現在の自民党への批判は、当然の批判と受け止める部分が大半である。我々若い議員は率先してこの逆風に立ち向かい、悪いところは全て吐き出し、自民党に対して再度ご支援を頂けるよう努力していく。今後とも絶大なる支援を賜りますようお願い申し上げます」と述べた。

また中原そう参議院議員は「昨年十月に選挙制度が変更され、非拘束名簿方式が導入された。今度は「中原そう」と直接名前を記載して頂くなくてはならない。これは全国歯科医師会を含めデンタルファミリー挙げての

選挙となる。私は、この六年間、歯科界の山積する難問について取り組んできた。特に歯科診療報酬の問題、高騰を続けるパラジウムの問題、少子高齢化における歯科医師需給問題、在宅訪問歯科診療の問題などについて検討する小委員会を初めて発足することができた。これらは国政の場にいるからこそ出来た業である。私を歯科界の代表として再度国政の場に立たせて頂き、歯科界のために政治折衝が出来るよう皆様方のご支援をお願いいたします」と訴えた。

次いで中原そう議員、みぞと顕正議員の必勝を祈念し、長岡貞彦相談役の発声のもと、会場全員が一致団結となり拳を高く突き上げ「がんばろう」と述べた。

入場整理券や印鑑はいりません。手続きはきわめて簡単で、本人が出かけるだけで投票できます。土曜日、日曜日にかかわらず、選挙の公示や告示のあった日から投票日の前日までに市町村の選挙管理委員会（市役所・区役所・町村役場など）で投票を済ませましょう。時間は午前八時三十分～午後八時までです（地方では交通機関の都合などで午後八時以前に終了するところもあります）。

投票日、行けない時は不在者投票を

伊東敏昭副会長から開会の辞が述べられ午後三時、励ます会は盛會裡に終了した。

連盟会務報告

平成十二年十一月一日～平成十三年二月二十八日

平成十二年

11月21日	広池会二周年記念総会	11月12日	援会新年互礼会	2月7日	林 正夫県議会副議長 来会
11月22日	鈴木宗男自民党総務局長と三師会懇談会	1月18日	日本歯科医師連盟臨時評議員会、同都道府県代表者・理事長合同会議	2月14日	河村建夫文部科学省副大臣と面談
12月1日	連盟ニュース第99号発送	1月20日	増原義剛後援会新年互礼会	2月10日	砂原克規県議会議員来会
12月6日	みぞと顕正君を励ます会	1月26日	連盟ニュース第100号発送	2月9日	大田 晋と共に「新しい広島を語り合う夕べ」
12月11日	第三回連盟理事会	1月31日	亀井郁夫新年互礼会	2月19日	谷川和穂先生衆議院議員在職35年、勲一等旭日大綬章をお祝いする会
1月5日	自民党安芸第一支部檜山後援会新年合同互礼会	2月3日	石橋良三県議会議員来会	2月20日	林 正夫後援会総会
1月8日	自民党広島県第七選挙区支部新年互礼会	2月23日	砂原かつのり後援会・自民党西区第一支部合同新春の集い	2月24日	中原そう議員・みぞと顕正議員を励ます会 (福山・広島)
1月11日	衆議院議員岸田文雄後援会	2月24日	秀政会政経セミナー		

〔福山会場〕

二月二十四日(土)午後二時から福山グラウンドホテル「ローズパレス」において標記励ます会が開催された。どんよりとした曇り空の中、小雨が降る生憎の天候であったが、中原そう議員・みぞと顕正議員の応援に三〇〇名を超す会員、家族、技工士、衛生士などが駆けつけた。

三戸城土理事長の司会



熱気溢れる福山会場